

## 第 9 回 VMAT 治療計画実習講習会参加報告

九州大学病院 廣瀬貴章

この度、私は日本医学物理士会の講習会参加補助金の支援を受け、第 9 回 VMAT 治療計画実習講習会に参加致しました。私は、九州大学病院に勤務しており、日常業務において治療計画を行う機会がございます。そのため、本講習会は業務に直接かかわる内容であり、是非とも参加したいと考えておりました。

VMAT 治療計画実習講習会は、2 日間にわたって開催され非常に充実した内容でした。まず、初日は、VMAT 治療計画の講義から始まりましたが、すぐに実機を使った実習へと移ります。一人 1 台の治療計画装置が準備されており、基本的な操作から最適化パラメータの設定まで 4 人の講師の先生方が、それぞれの参加者のペースに合わせて丁寧に教えてくださるので、経験の少ない方でもしっかりと理解できる体制がとられていると感じました。実習内容は AAPM TG119 の IMRT コミッショニングのための模擬症例を使って、基本的な VMAT 治療計画について学びました。その後は、前立腺癌の単純なものから少し複雑なものまで臨床例が準備されており、実際の臨床では症例ごとにターゲットとリスク臓器の位置関係などは異なるため、どのようなところに注意すればよいか教えていただきました。2 日目は、主に頭頸部の臨床例を使った実習を行いました。これも、いくつかの症例が用意されており、実習の合間に講師の先生が実際に最適化を行う過程を解説しながら、各パラメータの設定などの実演をしていただき、どのように考えて治療計画を行っているかが理解でき、大変有益でした。

本講習会に参加して、ここで得た知識はすぐに臨床に活かせると感じました。実際に治療計画装置を操作して、VMAT の治療計画について学べる機会というのは他の講習会ではなかなかありません。私も、これまで治療計画について座学の講習会などで学んだりデモンストレーションを見学したりすることはありましたが、いざ実際にやろうと思ってもうまくいかないことや理解不足な部分がありました。しかし、本講習会では、自分で考えながら操作する時間が非常に多く取られており、分からないことがあれば、第一線でご活躍されている先生方のサポートが得られるため、VMAT 治療計画の理解が深まりました。また、配布された資料には、治療計画に関する様々な Q&A についても記載されており、臨床において生じる多くの疑問が解決できる内容となっております。

最後に、今回、御支援いただきこのような機会を与えてくださいました日本医学物理士会ならびに会員の皆様に深く感謝申し上げます。また、本講習会は本来 10 月開催予定で、台風の影響で一度中止になりましたが、お忙しい中、振替開催を実施していただきました講師の先生方に心より感謝申し上げます。